

Catch the eye 2014年9月

2014/9/3
(水)

流れ

また夜には雨が降るのか、午後から雲ってきた。週間予報では日曜まで雨。昼前、三番街の和菓子さんの前を通ったら、月見饅頭が前面に並んでいた。9月8日の夜はどうぞ晴れますように。



このところ、ロボット、人工知能の話題が多い。今朝のラジオで、ロボットだけのカフェが中国にできているそう。日本のある大学では、ロボットと人間の協働状況を研究しているらしい。

先月この覧に人工知能がわたしたちの生活に定着する時期を2045年と書いた。実際、研究者の間では「2045年問題」と言われているらしい。いま生まれた子どもたちが30歳になり、社会の第一線で活動する時には、働く現場はどのようなになっているのか。

それ以前に、人間そのものがどのようなものになっているか。人間の人間らしいところは、感情や気持ちの動き。気遣いはその最たるもの。2045年の世では、その値打ちも今とは比べものにならないほど高まっているのではないか。いや、逆にその値打ちを測れない、意味を感じない人が大多数になっているかもしれない。

30年後の世の中がどうなっているか、興味深い。たぶん、自分の目で見ることにはできない。でも途中までの過程は見ることはできる。長く生きていくにつれ、時代の流れがみえてくる。流れるのが常ともよくわかる。だから、ある程度達観できるというものか。

2014/9/11 日常のあり方に
(木)

中秋の名月は晴れた夜空にはっきり見えた。中秋の満月は雲の波間に浮かんでいた。月明かりが波動を照らし、天空に海の絵を見るようだった。両日とも夜空が晴れて、今年はいい月見。十五夜の月を見たから、十三夜の月も見なければ。



見なければと言えば、「東京である国宝展、これは絶対見なければいけませんよ」と、考古学マニアの知人から勧められた。10月から12月にかけてあるらしい。この人がそう言うからには、行く値打ちがあるはず。『好きこそものの上手なれ』、目が利き、情報も豊富。

たまたま展覧会の話をしたから知った相手の趣味と興味。そうでなかったら、今でも仕事の話で終わっていた。聞いてみないとわからないものだなあと思うことは多々ある。先日もしみじみそう感じた。その人の人生哲学を理屈で聞くより、日常のあり方を知った時の方が特にそう。

日常の過ごし方の中にその人の精神性や基本的な創造力があり、その精神性と創造力が日常の過ごし方を創っているという感じがした。本人にとっては自然なことだけど、人からすると、“へえー、そんな風に感じられるんだ、そんな風にするんだ…”と、その人に奥行きを見る。

その奥行きすべてを知ることはできない。だから、かい間知った時に、まだまだ深いものがあるのだろう、と想像する。日常にふれる会話、それは意外に少ないかもしれない。でも、それができた時、お互いを尊ぶ次元へ進むのではないか、人間関係が。

それができなかつたとしても、人間おたがいに、“へえー、そうなのか”と思うような独自の何かをもっていることを了解しておきたい。

2014/9/24 最終コーナー
(水)

昨日はカラッとした晴天、今日はむしっとした夏日。夕方には雨になりそう。昨夕、会議の後の帰り道、うつぼ公園で唯一の彼岸花発見。一昨日も目をこらして見渡したけど気づかなかった。この時期、やはりこの花を見なければ。

バタバタと過ぎた8月末からのひと月。10月も目前、徐々にむこうからやってくる新しい節目。冬至までほんの三ヶ月、当年の最終コーナー。今年の計が肩をたたき、新しい年の計が頭上に控える。ちゃんとバトンをつなぐのに残された時間は短い。

2014/9/26 ノスタルジー
(金)



晴天。色づき一番乗りの桜の枝葉、干草色の空に映え、心は浮世をはなれる。いい季節になった。芸術の秋、読書の秋、食欲の秋。どれも、バランスよく味わおう。

一昨日、朝の地下鉄の中で、ちょっと異彩をはなつ女性あり。白髪まじりのセミロングを真ん中で分け、肩にかかるように三つ編み。手元には文庫本。文学少女がそのまま大人になった感じ。

昨夕、地下鉄に乗って立った位置の座席に、これまた三つ編みの女性。一昨日の女性と同じぐらいの年齢。ひょっとして、雑誌か何かで勧めていたのかしら、ノスタルジーな秋のおしゃれとして。

昔を懐かしく思うことはあっても、若い頃に戻りたいとは思わない。昨日テレビで有名な女優がそう話していた。同感。ちやほやされ、大目にみてもらえ、調子にのっているようなもの、今ふり返れば。

自分史に意味ある時期といえ、物心がついてから思春期の頃と、若い頃を過ぎたその後の人生ではないか。原点をとりもどす営みが人生の後半。そんな風に見てとれる、周りの人々の様子からも。

番外 京都府商工会連合
会主催の創業ス
クールでの様子

